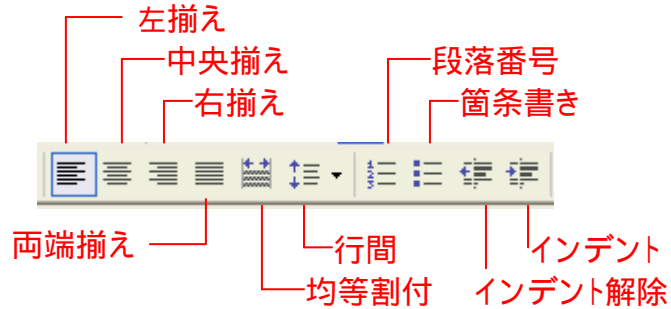


9. 文字の揃え

9.1 文字の配置

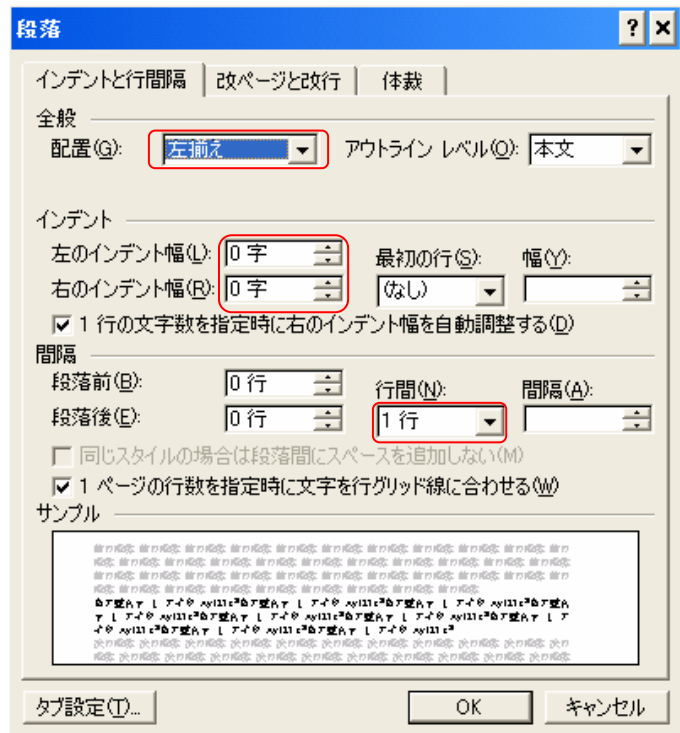
A. 書式ツールバーを使う方法



B. 書式のダイアログを使う方法

メニューバーの[書式] [段落]を選択します。

[インデントと行間隔]タブを選択します。
右の設定画面が出てきます。



9.2 文字列の配置の操作

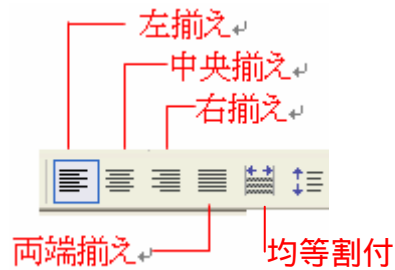
配置したい段落を選択(ドラッグして、黒く反転させる)するか、カーソルのある段落が対象になります

(注) 両端揃え：各行の文字列が段落の両端に揃うように調整される配置。両揃えを設定すると、段落の両端が揃い、体裁がよくなります。

左揃えと両端揃えの違い

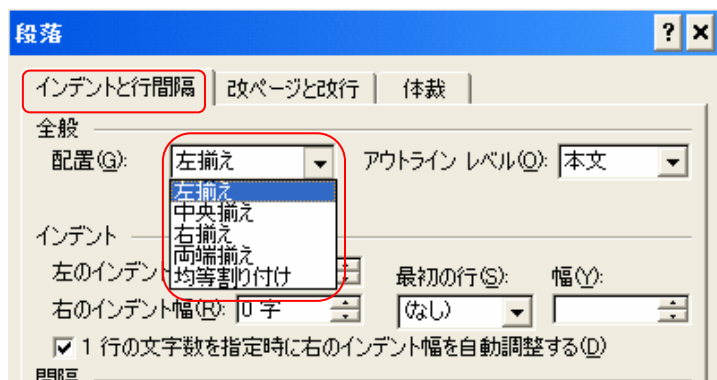
両端揃えでは、微妙に1行目と2行目の文字がずれたり、文字が広がることがあります。各行の文字位置を揃えたい時は、左揃えを推奨します。

A. ツールバーからの操作

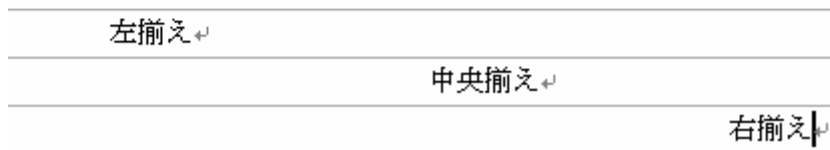


B. メニューバーからの操作

[書式]-->[段落]から選択します。
右の[]ボタンで選択できます。



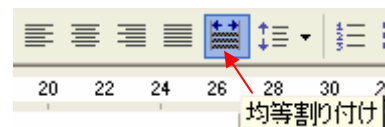
左揃え、中央揃え、右揃えの例



9.3 均等割付

A. ツールバーからの操作

均等割付する文字列をドラッグして、選択します。
[均等割付]のボタンをクリックします。
[新しい文字列の幅]で文字数を入力する



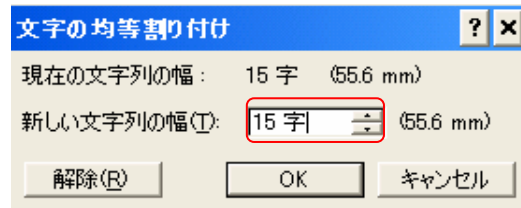
B. メニューバーからの操作

均等割付する文字列をドラッグして、選択します。

メニューバーの[書式] [文字の均等割り付け]を選びます。

文字列の幅を設定します。

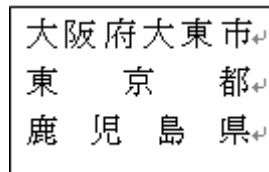
mm 単位で設定したい場合は『30mm』のように単位まで入力します。



(注)均等割付で文字列の幅が mm 単位で表示されている場合

メニューバーの[ツール] [オプション]の[全般]タブのところの[文字単位での編集を可能にする]のチェックを入れると文字数で設定できるようになります。

均等割付の例です。

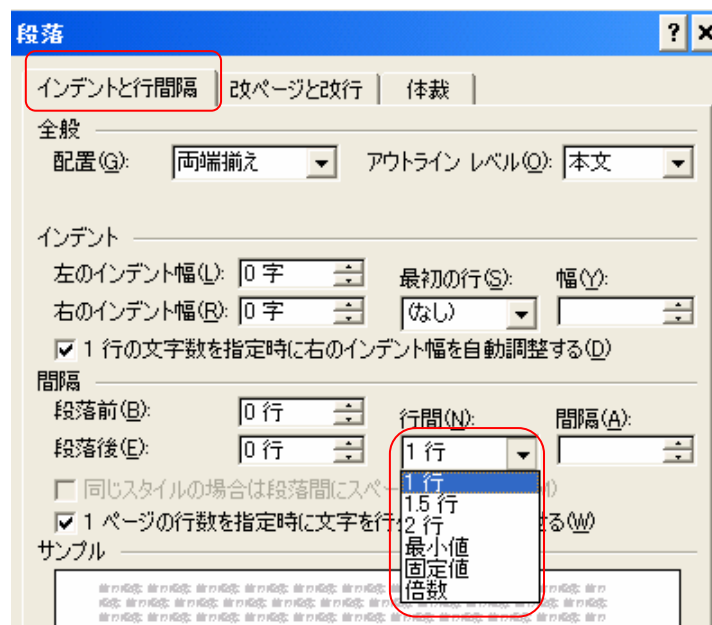


9.4 行間を変える

メニューバーからの操作

[書式] [段落]の[インデントと行間隔]を選択します。

細かい設定ができますので、いろいろ試してみましょう。



行間を変更した例

フォントサイズを大きくすると、行間が自動的に広げられます。
 行間が広すぎる場合には、行間の設定を変えます。
 行間がわかるように、グリッドを表示しています。
 グリッド線の表示は、メニューバーの[表示] [グリッド線]にチェックを入れます。

文書の文字を大きくすると、

行間が自動的に**広**くなります。 } 文字を 16pt にすると、
 行間が広がります。

見た目に悪いと感じた場合、

[書式] → [段落] で、

行間を [固定値] とし、**ポイント数 + 2** 程度にすると改行幅は同じになります。 } 行間 [固定値] 間隔 [18pt] とすると、
 行間が広がりにません。

(注)文字の大きさに対して、行間が狭いと、文字が重なってしまいます。適度な[行間]が必要です。フォントサイズ+2(pt)程度の[間隔]にします。

9.5 英数文字の両端の空白をなくする

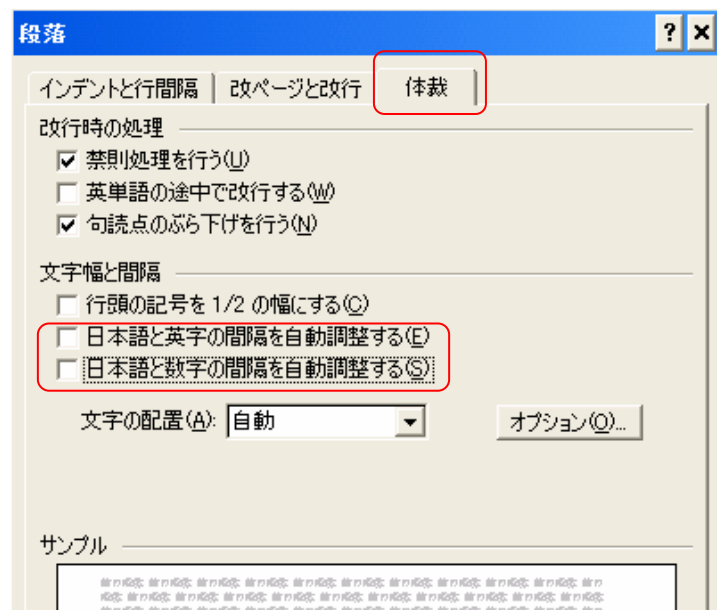
変更前後の状態です。

この文書は Word で編集しています。

↓

この文書は Word で編集しています。

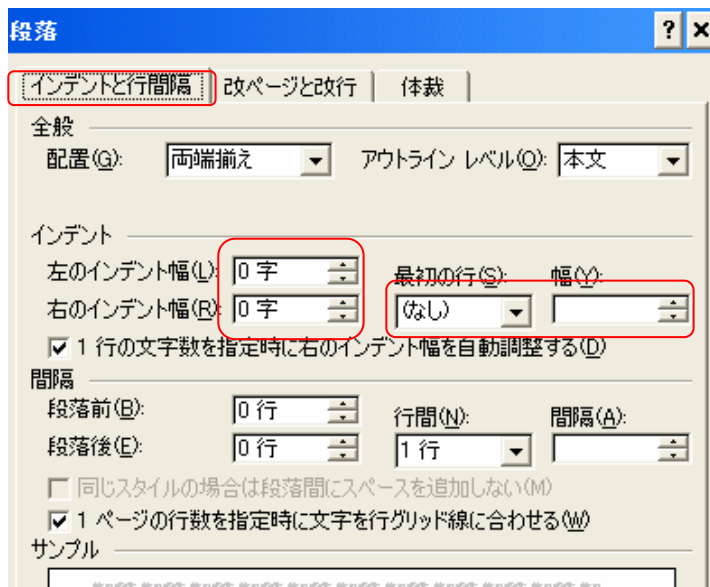
変更する段落を選択します。
 [書式] [段落] を選択します。
 [体裁] タブを選択し、「日本語と英字の間隔を自動調整する」、「日本語と数字の間隔を自動調整する」のチェックをはずします。



9.6 インデント(余白から文字までの間隔)

A. メニューバーからの操作

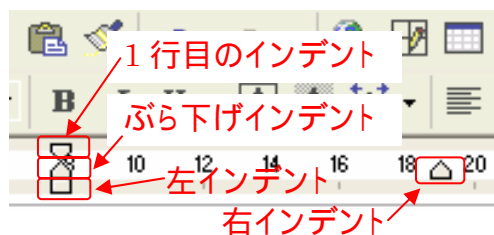
段落を選択します。
 [書式] [段落]を選択します。
 [インデントと行間隔]タブを選択します。
 左のインデント幅の設定をします。
 同じく右のインデント幅の設定をします。



B. ルーラー上での操作

ツールバーの下のルーラーにあるインデントマーカー
 左インデントと右インデントがある。右図参照

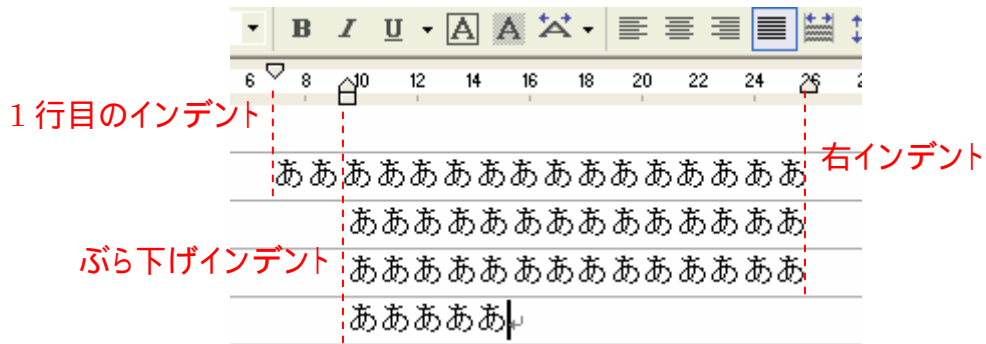
左インデントは 3 個のボタンから成っています。
 これらのマークをドラッグして位置を決めます。



1 行目のインデント:段落の 1 行目の位置を決める
 ぶら下げインデント:段落の 2 行目以下の位置を決める
 左インデント:段落全体のインデント位置を決める

(注)インデントマーカーが思うところに設定できない?
 そのままドラッグすると文字幅単位でしか移動できません
 [Alt]キーを押しながらドラッグすると細かく設定ができます。
 それでも微妙にずれてしまう場合は、メニューバーの[書式] [段落] で設定してください。

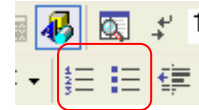
インデントの設定例



9.7 箇条書き

A. ツールバーからの操作

前回使用したスタイルで設定されます。
 スタイルを変更したい場合はメニューバーから操作します
 左から段落番号、箇条書き

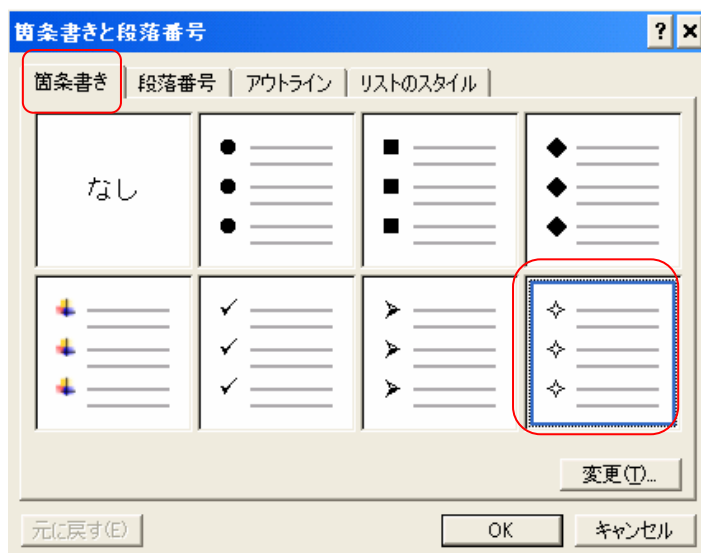


B. メニューバーからの操作

[書式]→[箇条書きと段落番号]を選択する。

9.7.1 箇条書きの操作

箇条書きにする行を選択します。
 右図の中から適当なデザインを選びます。



設定例



1行飛ばして次の箇条書きマークを付けるには

改行の種類を変えます(マークの違いを見てください)。

↓ は[Shift]キーを押しながら[Enter]キーを押します

↵ は[Enter]キーのみです。

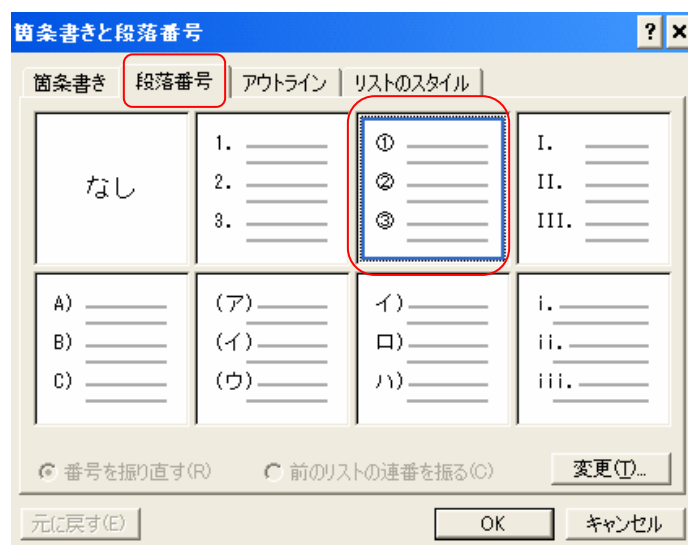
改行マークを変更した後、箇条書きの設定をする。

9.7.2 段落番号をつけます

段落番号をつける行を選択します。

下図の中から適当なデザインを選びます。

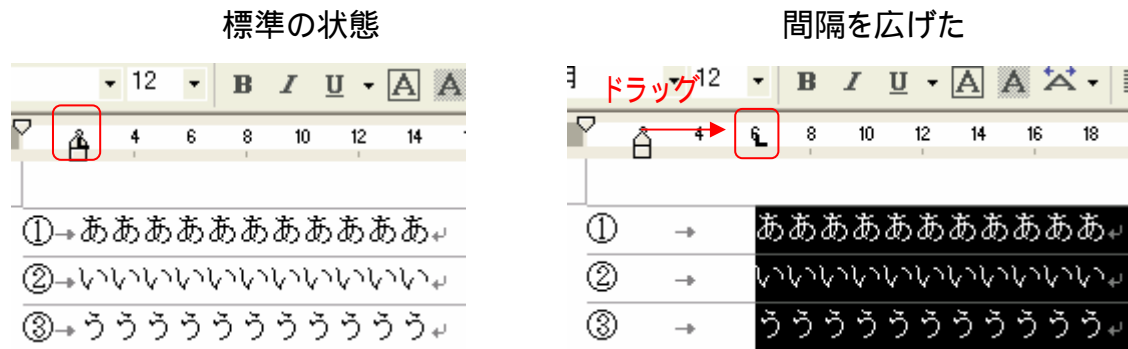
[OK] ボタンをクリックします。



9.8 段落番号と文章の間隔の変更

A. ルーラーを使う方法

変更する行を選択します。
[左揃えタブ]をドラッグして動かします。



B. メニューの[書式]→[タブとリーダ]を使う方法

変更する行を選択します。
[書式] [タブとリーダー]を選択する。

[クリア]ボタンをクリックして設定してあるタブを削除します。

タブ位置に数字を入力します。(単位は文字数になります。)

[設定]ボタンを押します

